

学研労協 NEWS ニュース

サイエンスカフェ「つくろう！科学の輪 第8回」(10/18)が開催されました 「身近な地球の話～地質を知って豊かに暮らそう～」 講師：斎藤 真さん（産総研）

学研労協とつくば市民大学が主催するサイエンスカフェ、「つくろう！科学の輪」では、産総研・地質情報研究部門・シームレス地質情報研究グループの斎藤 真さんを講師にお招きし、「身近な地球の話～地質を知って豊かに暮らそう～」と題して開催しました。

地質とは「地」球の性「質」のことを言い、普通は地面の下に隠れて見えない情報で、家を建てるときなどに少しだけ地質の情報に触れることがあります。しかし地質は様々な資源の源であったり、山や川など自然の風景を作り出す要因であったり、また災害を引き起こす要因でもあり、暮らしに大きく関わっています。

当日は、つくば市民大学に関東地方とつくば市を中心とする2種類の巨大なシームレス地質図を持ち込んで会場の床に敷き詰め、参加者が足下の地質を実感できるように工夫しました。サイエンスカフェの前半では、講義形式で日本の地質がどのような起源で出来上がったのかが分かりやすく説明され、太平洋のプレートの沈み込みと火山活動が元となって日本の地質が形成されてきたことを理解することができました。

また中休みを挟んで、カフェの後半では実際に斎藤さんが作成されたシームレス地質図を足下に踏みしめながら、関東地方やつくば市の地質がどのような歴史的経緯で作り上げられてきたのかが説明され、地質が地域の風景と深く絡み合っており、それが元となって歴史、文化が形成されてきたことを実感することが出来ました。特に、つくば市内で家を建ててはいけない地域に関する説明には、参加者一同、非常に熱心に耳を傾けていました。また今後、筑波山をジオパークに登録する上で必要な取り組みについて、専門家の立場から提言され、ジオパークの資源を消費しないこと、ジオパークにちなんだ商品開発を進めることなど、重要な指摘がなされました。参加者から様々な質問が飛び出し、大盛況のうちにサイエンスカフェを終了しました。

参加者からは、
・「風景の裏側には地質。」本日から少し風景の下の地質について考えながら暮らしていこうと思います。
・地質の知識はありませんが、長い地球年代の中でもどのように地質が形成されたかが分かり、興味深かった。
・地質図が良かった。
・難しいテーマですが、非常に興味深く講師の方の熱意がひしひしと伝わって参りました。地質についてもっと勉強したくなりました。
・とても楽しかったです。
・今まで考えたこともなかった地面の下のことが少し理解でき、面白かった。など感想をいただきました。

次回サイエンスカフェは来年3月頃開催予定です。皆さん、ご参加ください。